

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者	
医療安全	3年次 前期	必修	講義	1単位（30時間）	南雲 陽子 ※	
授 業 概 要						
医療事故の増加や包括指示に対応するため、安全管理における看護専門職の責任と役割を理解する。ただ単に知識としての学習ではなく、演習を通して事故を起こす存在としての自己を認識し、自ら危険を回避する行動がとれる能力を養う。どういう状況でミスが起きやすいか、現場に潜むリスクに対する感性を養い、ミスを防ぐには何が必要か、ミスが発生した時に被害を最小限にするためにはどのようにすべきかなどを体系的に学ぶ。						
到 達 目 標						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療事故・看護事故を自分自身に起こりうる身近な問題として捉える。 2. 医療事故・看護事故の防止ができるように、どういう状況でミスが起きやすいか気づくことができる。 3. 看護業務の実施に伴う種々のリスクを学習し、安全対策の必要性を理解する。 4. 医療事件事例を分析する方法を学び、再発防止に向けた対策を検討することができる。 5. 演習を通して人間特性や自己の特性を知り、ヒューマンエラーを防止する方法を説明できる。 						
回	学 習 内 容				担当教員	
1	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療事故予防および安全の基盤となる考え方 <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療事故と医療過誤 2) 人はなぜ間違いをおかすのか・・・ ヒューマンエラーの考え方とエラー発生メカニズム 2. 看護業務の特性と医療事故 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護をめぐる医療事故の現状 2) 看護業務の特性・・・最終実施者としての看護職 3) 安全対策、再発防止システム 				南雲 陽子 ※	
2	<ol style="list-style-type: none"> 3. リスクアセスメント力とは <ol style="list-style-type: none"> 1) リスクを予測する力 2) リスクを予防する行動 					
3-7	<ol style="list-style-type: none"> 4. 事故分析の方法 <ol style="list-style-type: none"> 1) 事故分析の実際（グループワーク） 					
8	<ol style="list-style-type: none"> 5. 診療の補助業務に潜む危険 <ol style="list-style-type: none"> 1) 与薬に関する危険・看護業務に必要な計算 					
9	<ol style="list-style-type: none"> 6. 日常生活援助に関する危険 <ol style="list-style-type: none"> 1) 看護実習とヒヤリ・ハット 					
10-14	<ol style="list-style-type: none"> 7. 医療安全シミュレーション <ol style="list-style-type: none"> 1) 事例検討 2) 演習とリフレクション 					南雲 陽子 ※ 保健看護科教員
15	<ol style="list-style-type: none"> 8. まとめ 					
学 習 方 法						
講義、演習(シミュレーション)、グループワーク。 体験し、考えることが中心の授業のため、積極的に参加する必要がある。						
評 価 方 法						
〔評価方法〕 科目修了試験、レポート他 評価方法の詳細は授業初回に提示する。						
先 修 科 目						
なし						
教科書、参考書						
〔教科書〕 医療安全 患者の安全を守る看護の基礎力・臨床力 編集 小林美亜 学研 医療安全ワークブック 川村治子 医学書院 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術 監修 川島みどり 医学書院						
〔参考書〕 医療におけるヒューマンエラー なぜ間違えるどう防ぐ 河野龍太郎 医学書院 RCA実践マニュアル 再発防止と医療安全教育への活用 石川雅彦 医学書院						